

設問： 芹ヶ谷公園“芸術の杜”に関して、本日のパネル説明のほか、ご意見やご要望などございますか。

※順不同です。

項番	意見・要望
1	(パネルは見る時間がありませんでした。ですが、芸術の杜のグランドデザイン、及び入札不調などの問題は存じあげています) 2019年に閉館し、もう長い時間が経っています。1日でも早い新博物館のオープンを期待しています。土地問題で難しいなら公園内にこだわらず、街の中に建てるという選択もあると思います。(アーバンなイメージで) 本日の体験、とてもおもしろかったです！体験型ミュージアムから得ることは大きいので、がんばってください。陶片ストラップ製作・焼きものとさわろう、体験しました。
2	体験棟は、犬の散歩の人などが寄れるオープンテラスなど食事ができる場所になると、人が集まると思う。今ある工房は、美術館の中にあってこそ意味がある。
3	親切に細かい所まで説明していただきました。ありがとうございました。斜面に建物を建設する際は、スロープは必ず残して下さい。老人、子供の散歩にはスロープが必須です。よろしくお願いします。
4	見直しということですが、ウェルカムな雰囲気よかったです。参加される方の意見は様々だと思います。他の人の意見をきいて「そうか」と思う機会、全体での、人を集めての説明や意見交換の場も必要だと思います。
5	工芸美術館建設に反対。市民病院20億の赤字などで48億円のうち20億円医療に使えば市民病院の医療が黒字になっていく。
6	版画と工芸が楽しめる空間になる希望が感じられ、とても嬉しく思いました。文化を楽しんで頂くための良い企画をどう作るか？工夫が必要だと思いますので本日の工芸品を実際に触れる企画はとても良かったと思いました。学芸員さんの熱意も伝わって来ました。
7	パネル展示がとても分かりやすかったです。工芸品について、版画を近くで見れたり作品に直接さわることによって、工芸品についての興味や価値が感じられとても良い機会になりました。
8	今日の説明内容を、市のHP等でも広く紹介していただけるとより周知が広がると思います。(もうありましたら申し訳ありません)
9	一部の人の意見だけでなく、幅広い人の意見を聞いて、じっくりと検討して見直しを進めてほしい。
10	版画美術館の中での制作の場を大事にしてほしい。同じく工芸館の中にも制作の場を作ってほしい。融合というのは耳ざわりがいいが、説明がいる話であり難しいと思います。どうしても融合ゾーンは別棟として、レストラン、ドッグエリア、トイレなども充実させて版画、工芸とは切り離してはどうでしょうか。版画のリノベ、工芸建設賛成です、是非。
11	早く工芸美術館完成して、多くの作品を町田で観たいです！
12	工芸館が本当に必要かよく考えてほしい。縄文の資料をもっと大事にしてほしい。新しい建物を造るのではなく、今ある建物を有効利用してもらいたい。工芸館に入れる(予定)の収蔵物はよくぎん味してほしい。全部をずっと保持する必要はないと思う。身軽になることも考えてほしい。工芸館ありきで計画を立てないでほしい。市民の意見をしっかり取りいれてほしい。市民が納得いくまで説明し、見切り発車しないでほしい。
13	芹ヶ谷公園ができる前からずっと見てきています。版画美術館ができて企画展がかわるたびに楽しんでできました。散歩するにも季節ごと花や草木が美しくいい所だと思っています。ただ最近樹木の手入れが行き届かず、噴水も故障していることもあって楽しさ美しさが失われているのが残念でなりません。My Sky Holeや高橋清さんの大きな作品、そして2ヶ所の案内板も汚れているのが気になり拭いてみたこともありました。東京都美術館の庭に井上さんの姉妹作品があり、ピカピカに輝いているのを見て作品は設置するだけでなく美しさを保たなければ作者に失礼だと思いました。たくさんの優れた収蔵品があるので、工芸館はあったらいいと思いますが大きな箱を作るのにお金をかけるよりこじんまりしたものを作り公園の維持管理にお金をかけてもらいたいと思います。現在の版画美術館は裏の森やスロープも合わせて自然にとけこむよいものになっていると思います。
14	いろいろな質問にも親切に対応していただき、ありがとうございました。なぜこの計画が白紙になったのかよく考えてほしい。一番は立地の問題である。この残り少ない緑をさらに縮小させることには反対である。賑やかな駅前と静寂な公園の対比が町田の魅力なのです。

15	計画を本気で見直してほしいです。道や駐車場が混雑しています。公園、美術館のまわりの環境にも考慮しながら整備してほしいです。
16	工芸美術館は作らないでほしい。作るなら芹ヶ谷公園外。例えばせりがや会館など。“芸術の杜”も大事だが、まずは公園をきれいに整備してほしい。
17	本町田の博物館は二度程伺いました。正直こんなに所蔵されているとは思いませんでした。ですが芹ヶ谷の自然を破壊する事には賛成出来ません。もっと身近にふれられる様、街角ギャラリーを提案したいと思います。自然と共有出来る美術館、新たに建造するのではなく、なにげなく自然に工芸品にふれたいと思います。
18	すごくよかったです
19	何よりも立地について再考が必要と感じた。(今回の予算から“芸術の杜”事業予算がとり下げられたのは英断です)“旧せりがや会館”、“都営住宅跡地”(現運動フィールド、駐車場)など整地の必要が少ない土地なども候補として再考するとよいのではないのでしょうか。
20	版画美術館のユニークな建築を保存、継続していきたい。友の会が開設して25年以上になる。運営に努力してきたことを理解してほしい。民意(善良な)を自治体としてつなげてほしい。美術館と組織として生かすことを望みます。
21	芹ヶ谷公園は高低差が激しいので、エレベーター棟があるとありがたいです。町田駅から徒歩圏内にこれほど自然に恵まれた公園があるのは大変に素晴らしいので是非活用して頂きたいです。
22	市民ですが、今まで事情/状況がわかっていなかったのも、よかったです。元々、美術や陶磁器・工芸に関心がある(自分)なので、早く開館しないかと思っていましたが、そうではない人とは感覚、感想が違うのだと改めて思いました。早く開館できるといいですね。
23	近くの公園が素敵にリニューアルされて、これまで以上ににぎわう場所になるのは近隣住民として嬉しい。立地に関して様々な意見があるようだが、安全性に配慮して住民が安心できる形で整備を進めてほしい。
24	公園までのスロープ、パークサイド町田横から美術館横までのスロープは命の道。エレベーターで利用することで車椅子はいけるが、保育園、ワンコが通れなくなる。必ず残して欲しい。もしくは別の導線を整備して欲しい。
25	市内の廃校になった校舎を美術館として使用するの难道いでしょうか？ その時に、美術・工芸の展示や交流の場としてだけではなく、図書館機能、劇場機能(映画上映含む)、なども併設しているといいです。カフェの設置は必須です。
26	国際工芸美術館の位置見直し⇒芹ヶ谷会館の建替えを含め跡地へ等再検討。 版画工房内容見直し、中身etc。工事の土等の仮置場、再検討。ダンプの土の移動、粉じん対策、道路改修etc。 全体的な計画見直しを。
27	芸術の杜を考える前に、「公園」とは何かを考えて欲しい。公園の樹木は全く手入れがされていません。篠竹や下草は全く刈り取られていません。公園は心の休まる場所です。薬師池公園では、篠竹や下草が草刈機でいねいに刈り取られており、気持ちのいい公園です。この違いはどのようなことであろうか。
28	今までも、「意見をきく」場が何度もあったが、またふりだしにもどってしまったようです。時間がもったいなかったとされます。ここまですまいかない、物価高騰などもあるのだし、いっそ中止してほしい。公園のあちこちに工事予定のカンバンがずーっと、あるまま。どうにかならないか。大変見苦しい。また数年このままなのか。
29	芸術ってなにかやら難しそう…って思いますが、今までに作成されたスタンプを押すだけ、焼きものカケラでストラップを「自分で」作る体験は、大変おもしろく、「芸術」を体感できました。貴重な体験をどうもありがとうございました。m(_ _)m
30	計画見直しは投資額だけの問題でないことを期待します。 計画ありきの住民説明ではなく真に地域住民の協業に期待してます。
31	現在の市立博物館(休館中)は多くの収蔵品があり、是非見てみたいと思いますし、多くの市民にも見て欲しいと思ってます。中心市街地に近く芹ヶ谷公園に移転することで、より多くの人を訪れるようになると思います。良いものを造っていただきたいと思います。ただし、現在の計画は工事費も高騰しており、工芸美術館の建設、体験棟の建設、版画美術館の改築等規模も大きく、無駄も多いと思います。全面的な見直しをして、良いものを作してほしいです。せりがや会館の取り壊しも計画されているようなので、せりがや会館跡地も工芸美術館の建設用地として考えられませんか？
32	芸術の杜の建物がたくさんの人を呼べるような美術館の企画やカフェや野菜の売り場、食事場所をつくれる場所にしてほしい。

33	版画美術館も芹ヶ谷公園も大好きです。より良い町田市になってほしいので、意見を言います。まず工芸美術館は建ってほしいです。でも版画美術館は、ほんの一部でも壊さずに工芸館を建ててほしい。体験棟には、犬の散歩の人とかがくつろげるお店、テラス、トイレなど魅力的なものを作るのが大事だと思う。まず人が集まらなければ、美術館にも人は入ってこない。体験棟と呼ばれている場所にギャラリーを作るのもいいかも。5日間で20万とかで貸す！
34	早く完成できるのを期待します。楽しみに待っています。
35	このような機会は大変良かったと思います。
36	工芸館についてどのように進めようとしているか知ることが出来て良かったです。
37	①そもそも、緑を壊してまで箱物を作る必要の有無を再考すべき。（役所は箱物、組織を作りたがる）②どうしても必要ならば、環境を損ねない状態で必要最少限の予算で作るべき。（税金の無駄使いはダメ）③芹ヶ谷公園は市民の憩いの場であり、景観を損ねないようにして欲しい。
38	シャトルバス
39	これまで様々な場で意見や声をきいて、それを反映してきたのが今の計画につながっていることがわかりました。100%全員の要望を満たすのは難しいと思いますが、せっかくの作品や芹ヶ谷公園をもっと広く知ってもらい、芸術や文化を楽しんでもらえる場になると良いと思いました。作品の紹介や実際に手に触れてみる体験、陶片アクセサリーづくりなど決して敷居の高いのが工芸ではないということを感じられたのがとても良かったです。
40	現・美術館のシステムを変更するなどもってのほか。世界に誇れる美術館ことに工房の継続を望みます。また美術館を民間委託しないでください。工芸館でなく市民、ことにこどものための博物館は重要だと思う。
41	工芸にこだわらずに、せっかく新しい展示施設を作るなら油絵や水彩画なども含めた企画展の実施も計画してほしい。若者にとって版画や工芸よりも油絵などの絵画の方が人気があるため、それらを用いて人を呼びこみ、工芸や版画の入り口にするなどの工夫が必要だと思った。そこから町田を訪れる人を増やし、その利益を市民に還元するような形を取ってほしい。
42	実際に古い陶器にふれることが出来 興味深いお話を伺うことが出来ました。立派なハコモノも大事かもしれませんが こんな体験ができる開かれた展示を増やしてほしい。行ってみたいと思う気持ちは箱の外側だけでは続かないと思います
43	自然を壊さなくて、現状ある版画美術館の中で「芸術の杜」が展開されたいのになと思いました。
44	こういう意見を求める会はいっぱいあります。自分の出した意見がどう扱われたのか、フィードバックがあるところが少ない。「全部この通りにしろ」というのではなく、もっとやりとりできる会がいい。言いつばなしでは、意見を出してくれる人が減る。「これいいアイデアだね！」「これはこれこれこういうことで難しいのだ！」等の生きた会話！
45	暗くなるとやや危険な階段や歩道が目立つので、街灯を増やしてほしい。
46	町田市立国際版画美術館のユニークで幅広い活動（事業）が素晴らしいと思います。市という自治体が展開（？）していることも稀有な事です。展示場（2F部分）、アトリエ、工房、市民への開放展示室が館内に揃っていることは他の美術館等のモデルになっていると聞いています。40年きれいに存続されていることも市の心意気が表われそのお陰です。分割することなく継続させていただきたい。10周年記念に開設した「友の会」の一員として広く知らしめること、楽しむことに努力してきました。分割はダメです。
47	公園の中でも、雨や風に耐える版画の版を展示できたらよいと思います。
48	芸術の杜のプロジェクトは将来の町田に生かされることを願いますが、工事の間中、どのように今までの芸術活動が続けられるのか不安です。年に一度、市民展示室を一週間お借りして油絵を発表させていただいているサークルです。高齢の方が多いので、しばらく使えなければ活動そのものをやめざるを得ないかと悲しい思いでいっぱいです。
49	携わったすべての人、すべての会議、アンケートを公開してほしい。賛成も反対も情報が足りない。経緯を聞いてもスタッフが答えられないのも問題。以前、長文で反対の意見を出したが、その後の議事録にのっていなかった。情報操作されていると感じる。子供も大事だが全世代に目を向けてほしい。
50	町田市民、行政が相互に納得できるかたちでの計画となればよいなと思いました。
51	詳しい説明をしていただいて今の状況がよくわかりました。

52	今回の体験や説明で町田市に芹ヶ谷公園「芸術の杜」というすばらしいエリアとコンセプトがあることを知りました。価値ある工芸品と憩いとなる緑をこれからも発信され大切にしていってほしいと思います。
53	近隣等の市民の方が計画に反対していることは知っていましたが、私自身は不勉強で断片的な反対理由等が耳に入る程度の理解度でした。今日、職員の方から説明を聞き、計画そのものは必ずしも悪いものとは思いませんでした。反対されている理由としては、「斜面地に建設することで莫大な費用がかかる。斜面だと維持管理・修繕にもコストがかかるのではないかな。今ある「けやき」や体験棟を壊さないで生かした方がいい。スロープが途中までとなり公園まで行けないのは困る。スロープは残してほしい。エレベーターが使えない時の為に必要（工事車両への不安、緑地保全なども）」といった内容とのことですが、樹木伐採については、私は反対ではなく、むしろ高木古木は伐採更新して適正管理が必要だと思っています。莫大なコストがかかることについては、町田市を代表する駅から近い公園に投資することは理解できます。一方で…版画館の一部を取り壊すことへの抵抗感、スロープが途中までになってしまい直接公園に行けないのは困るという声は市民として共感します。（他にも反対理由はあるのかもしれませんが）これらの意見を尊重して、計画を見直し、よりよいものができることを願っています。
54	エレベーターもエスカレーターもいらない。税金のムダ。若い人の負担がふえる。手すりを充分につけスロープにして。歩いて森の中を散策して健康を保ちたい。
55	この公園の上に住んでおりますが、知らないことが多くありもっと上手に宣伝したら良いと思います。毎日のようにウォーキングで園内をあるかせていただきますが草ボーボーとしていて残念。線路際の池等をきちんとしたら素晴らしいと思います。建物ばかりでなく、公園整備にも力を入れていただきたい。
56	これまでの経過説明会を通じて暗い思いをしてまいりました。説明を受けて市役所・市民・住民の意見交換をしっかりと計画をねりなおしてほしい。工房アトリエはこのままで移さないでほしい。工芸美術館の建設場所を考え直す（町田荘あと地などに）。公園内の木々の手入れは必要である。町田市の版画美術館・工芸美術館に来たいと心から思えるものにしていただきたい。
57	現状なにも決まっていないことがよくわかりました。
58	理解できないことが 1. “芸術”ってどのような解釈なのか意味不明。2. 博物館をつぶして“国際工芸美術館”って名称は言葉の遊びにしか見えない。3. 市のタテワリ 行政の悪しき例 緑をつぶすのはもってのほか。4. 自分の公園の a.アクセス 町田駅から15分 b. 周辺の遺跡との連携が皆無
59	この先どうなるのか時間ばかりかかっていてよくないと思う。いっそ中止してほしい。現状でも修繕費などはかかると思うので、今の建物をしっかりキレイにして使いつづけられるようにしてほしい。
60	広く意見をとり入れてほしい。このような機会は意味がないとは思わないが、機会だけで説明が終わるようにしないでほしい。今は町田市の収入が上がる時代ではなくなっている。小学校の統合を進めて経費をおさえる方向とか、学校は地域住民にとっても大事で、ただ集めればいいものではない。まず本当に必要なものか、よく考えてほしい、たとえば少子化対策とかに使ってほしい。
61	白紙後、最初の取り組みとしては、興味深い、良い取り組みである。市や館関係者がそれぞれ取り組みや作品を紹介しているのも良い。一方、これまでの検討の経緯はざっくりとしか分からず、芸術をどう市民の中に根づかせ、育て、つないでいくのかという目的が不明。その目的があってこそその手段としてのパークミュージム構想であり、手短ばかりの説明しかなく、残念であった。市民における芸術を通じた豊かな人生の創造には、市内のあらゆるモノや情報をつなげる必要があり、博物館資料は美術・工芸品にかぎらず、地形、自然も含めた検討をしてほしい。
62	工房の移転は必要ないと思う。現在、いろいろな人が展示を見たあとに、興味を持って工房を見に来て下さっている。工房が離れると、その教育的な意味がなくなる。工芸館を、町田荘跡地にして、子供が体験し、かつ手を洗ったり、着がえたりするところ、軽食もできるところにして欲しい。工芸館は、がけ地ではなく（もみじ谷上、現行の考え方は危険）又、ランニングコストを考えて、我々の税金を有効に使って欲しい。箱物をいたずらに増やして欲しくない。
63	市民の解答の方向性が似通ったものが多く、それを解決する手立ての説明が必要なのだと感じた。アンケートのメモ用紙を見ていると、ふわりとした制作順路や概略の説明のみだから、納得がいかないのだと思う。
64	高低差をなくす。エレベーターを早くつけてほしい。今日もスロープの下から車イスを押している人がいて大変そうだった。でもスロープはスロープで残しておいてほしい。
65	この芹ヶ谷公園にキンラン、ギンランが静かに咲いていることをご存知ですか？この豊かな森をこわしてまでも建設する意義が今日のパネルでは理解できませんでした。これからの子供たちにアート体験が大切なことはよくわかります。工芸品ではなく、青山の「子どもの森」のように全身絵の具だらけになったり、体や頭をつかって感じられるアート体験ができるアトリエを希望します。

66	木の伐採は反対です。豊かな森（狭いですが）を傷つけないで下さい。他の立地を考えるか、工芸館は建てないと決断していただきたい。
67	私としては、芸術美術館や公園スロープ、エレベーターは作って欲しいと思いました。そして、もっとアート（芸術）に触れあえるところであって欲しいです。
68	あまり大胆にお金をかける必要はないと思います。ただし市民の方に対して、開かれた公園とする為にアクセスについては検討する必要があると思います（駅の方から公園に来るまでの導線、公園内でのバリアフリー化等々）。美術館でのワークショップが増えるとより活気がでていいかと思います。
69	こういうことをもっと多くやってほしい。
70	たのしく見させていただきました。博物館には何度も足を運んでいたもので、どうにか皆さんに見ていただける機会を作ってもらいたいものです。
71	この公園のコンセプトを「にぎわい」から「しずけさ」に変更して欲しい。収益は美術館からはえられません。しずかに観る鑑賞の場としてあるので、美術館の中に子供の遊び場を作るのはやめてほしい。冒険広場近くの中広い階段はだれが設計し計画したのか知りたい。この公園の美しさを破壊し、破壊のはじまりです。又、噴水近くに出来たトイレも昭和のデザイン。誰が考えたのでしょうか。
72	芹ヶ谷公園は決して大きい公園ではありません。いじりすぎず、工芸館も節度ある建物を望みます。せりぼうは芹ヶ谷公園の価値を高めていると思います。町田市でも広報に使っているのに、きちんと予算をつけて、安定した運営ができるようにボランティア精神頼みはやめてほしい。市長にも担当の方にも朝の芹ヶ谷公園の様子を見ていただきたい。散歩、運動、毎日の利用者数×365日。相当な数になると思う。イベントの集客だけでなく、日常の公園としての価値も考えてほしい。文化はお金がかかります。一人のお金では触れられない。だからこそ税金を使っの公費の力が必要です。唯一の版画美術館の価値を活用してほしい。箱物よりも樹木の手入れ、整備にも継続的に予算を充実させてほしい。
73	今回の語る集いを含めアンケートの結果を整理して報告してほしい。パネルやストラップの作成など、計画の見直しの場ではなく、今までの計画のアピールの感じします。
74	中央図書館と合わせた見直しを希望。今の図書館は町田市のレベルに対して貧弱。美術館や博物館は年に1回程度しか行かない。大和市の図書館を参考にしたい。
75	ていねいなご説明ありがとう。
76	より地域の方々と楽しめる場となるよう実現を応援しております。
77	オープンスペース、公共のアートという観点について、利用者の観点によって様々な解釈があると感じました。利用するコミュニティの形成、試運転的な活動と施設計画案との間に、進行上のズレがあるように思います。新しい施設を運用する新しい、あるいは継続するコミュニティを見つめ直すところからなのでしょうか。
78	駅から徒歩圏内で、谷戸の地形を生かした緑あふれる芹ヶ谷公園は、その豊かな自然をなるべく残した形で、芸術の杜になってほしいです。工芸美術館を建てるにしろ、今の版画美術館と同じように、平地に、周囲にとけこむ形で建てられないのでしょうか。パネルで見たエレベーター棟はイマイチだったので、版画や工芸をモチーフにしたデザインだと素敵だと思います。建築家の山崎健太郎さんのように、刺激的な建築であるよりも、子どもから高齢者まで様々な人に受け入れられ、人生の一部となっていくような建築を目指している方に、考えてもらうのがいいと思います。（名建築であれば、集客も見込めますし。）
79	良質な資料や研究が何らかの形で日の目を見てほしいと思います。学芸員はじめ職員の方の立場が保障されて研究や成果の発表に集中できる環境がととのえばうれしいです。
80	工芸美術館を建てるにしても、今までの計画では工事費が高すぎる。最初の予算から、入札のたびに工事費が上がっている。いくら高くなっても建てるのはおかしい。工事費を安くするには、斜面地に建設するのはやめることだ。工事費もメンテナンス費用も高くなる。高ヶ坂側の芝生広場や草地広場に建てれば平地で工事費も高くないし、樹木を切る必要がなくなる。

81	納税者として芸術の杜計画を廃止し、芹ヶ谷公園の貴重な自然を保全することを強く望む。計画策定時から大きく時代と社会経済環境が変わっており、ゼロベースで見直すべき。工芸美術館の必要性についてあらためて市民に問べき（必要という声を聞いたことがない）。以前の計画を決めた際に想定していた未来と現状とは社会経済状況や税収が大きく異なることを検証すべき。どうしても工芸館が必要なら版画美術館の一部を改修しVRで見せればよい。そもそも毎日100万円の経費をかけて版画美術館を維持することすら、再検証し市民の声を聞くべき。 限られた税収をもっと違う重要性の高い事業（安全・安心して暮らせるような、インフラの更新や交通安全など）に使うべき。工芸美術館の再建は、一旦見直して。将来いつでも可能だが、芹ヶ谷公園の自然を工事ににより一旦破壊したら二度と戻らない。都心内で天然の虫が飛び貴重な自然を壊すようなことがあってはならない。未来を生きる子供たちに残すべきなのは、工芸館より自然であると考え。
82	駅近の街近の小さい公園です。目的は様々で公園に来られます。緑と空間を大切に多目的に利用できるようにお願いします。工芸館やエレベーターは必要ないと思います。芹ヶ谷会館も老朽化しています。この場所に工芸館を作ったら良いと思います。前市長の時は、こういう会は無かった。新市長稲垣さんになって希望が持てるようになりました。
83	施設のハードウェア面について全員が納得する正解はないと考えます。計画の完成度を追求するよりは現実的な解決を早期に実現することが重要ではないでしょうか。市民の意見を聞くことは大事ですが、すでに7年以上経過しているのは常識的に考えて「異常事態」です。ソフトウェア面（収蔵品、学芸員）は質・量とも充実していますので、現状は非常に「もったいない」状態です。ビジネスの観点であれば機会損失が厳しく問われるレベルです。様々な意見があるとは思いますが、今は答えを決める最後のタイミングです。先送りにせず、スピーディな対応で事態の正常化を期待します。
84	版画美術館の課題は修理して欲しい。（工芸館とは別に）アート体験棟、出会いの広場などの考えはもと設計者のアイデア。採用したところが成功しているのか？（アーツ千代田や八戸美など）町田でやるにはスタッフが必要＋お金がかかる。工芸館は最小限の大きさで版画美術館とは別とすべき。学芸員室なども別。
85	“芸術の杜”計画のごく初期の説明会で担当者が「ルーヴル美術館とチュイルリー庭園」を目標にあげていた。規模や予算、それ以前に立地に全く共通点もなく悪い冗談かと思ったが、その後の進展をみるとそうでもないと感じるようになった。“芸術の杜”に限らず町田市の事業計画は目先の派手さはかりに気をとられ、その後、持続的に運営することに対する考えが足りない印象を受ける。たとえば芹ヶ谷公園では大きなすべり台の設置にはお金を払うが、草むしりや通路の排水口の清掃など日常的な手入れには予算をつけないので荒れ果て、雨の日には大きな水たまりができてい。町田市が2つの美術館を運営していくにはどうすればいいのか。地に足のついた調査・検討のうえでプランをたててほしい。美術館は一時的な娯楽施設ではない。その責任と覚悟をもって計画をすすめてほしい。
86	芹ヶ谷会館の跡地に工芸館を建てる意見に賛成です。現状の計画の場所に木を倒してまで、しかも斜面に予算をかけて建設する意味があるのかと思います。
87	エレベーター棟はいらない。小さい子が入っていないなくなっちゃう。スロープなくさないでください。自然もできるだけたくさん残してほしい。土にふれられる公園は少ない。
88	芹ヶ谷公園で町田の「にぎわい」を作ろうという、そもそものコンセプトがおかしかった。市街地と緑地を一緒にたにしないでほしい。「にぎわい」が必要なのは市街地のほうであって、公園は「憩い」の場。市街地がにぎわってはじめて、公園の緑や空や光による憩いが生きる。コンセプトは“まちづくり”で流行の言葉を並べるものではない。芹ヶ谷の成り立ち、市民がどのように利用するか、などを踏まえた上で、磨かれて本質を文字に起こすものです。
89	芹ヶ谷会館を工芸館にする案が良い！！エレベーターは不要と思われる。自然を大事にする事が重要です。
90	立川市から来ました。市民に対し広く意見を求めるイベントはいいと思いました。
91	たまたま知り合いに教えてもらい立ち寄りしましたが、今の状況、今までの流れをパネルにしたことで見やすさはあった。早くから市民が目にする場があったのかはわからないが、今後もあるといい。
92	そもそもアートというものはコスパがよくないのですが、今回の工芸館などコスパが悪すぎるのではないのでしょうか？特にハード（ハコモノ）が。お金をかけて見えないもの（ソフト）を作る（創造）することがアート、芸術などという考えは、行政としては難しいのでしょうか。最近の日本経済を思うと、今、お金をかけて税金を使ってハコモノを作るのは、ちょっと冒険すぎるのではないのでしょうか？
93	版画美術館と博物館は統合しなければいけないのですか。博物館の改修ではすまないのでしょうか。芹ヶ谷の谷戸の景観を残してほしいです。

94	芸術の杜に至るまでに年数がかかると思います。先ずは沢山市民が利用している噴水広場・運動公園・桜等々今ある彫刻等を手入れしてください。「良い所だなあ、樹々も花だんも手入れされている、気持ち良く愉しめる公園」と感じたい。彫刻も池の手入れからとりかかってほしいと思います。
95	50億～90億と高額な費用を使う事なく、市民の憩いの場、町田市の中心的な場所を自然と野生の鳥や魚、ホテルなどを楽しめる公園にしていって欲しいです。
96	芸術の杜を市民は、望んでいない。公園の本来的意義は「いいいのスペース」である故に、基本的コンセプトを考えなおすべきである。
97	町田駅近くのこれだけの緑ある公園、整備するのは賛成。整備は第一に森の健康だとは思いますが。葉がもっときらきらすれば、それだけでより気持ちよい場所に。地域全体の環境改善のためにも重要な土地と考えます。同時に、町田の暮らしの楽しさにもつなげてほしい。街との回遊性が本当に実現できれば楽しい！町田駅から公園までのアプローチはぜひ整えてほしいが、公園自体も町田駅からアクセスすると、楽屋ウラから入るような感覚があり、ワクワクして来る気になれないのがとても残念。と計画を知る以前から思っていました。タイクンステージで、子どもたちが小さい頃から創作の場が当たり前にあるのはよい。でも子どもは子どもセンターで創作できるので、むしろ大人によいかも。しかも環境負荷的に木造で建ててはどうでしょう。RCの方が耐久性があるという考え方はもう古いです。版画工房の方々は、静かに創作したいように見えるので、ムリにタイクンステージと合体させなくてもよいかも。
98	1. 本日学芸員の方々のお話を伺い町田市が大変貴重な陶磁器・ガラス工芸品を所蔵されていることを知りました。会場では中国の古い焼き物に触れさせて頂きながらその作品の特色、時代、使われ方などを伺い、陶磁器を見る眼が大きく開かれた気が致しました。新たな工芸美術館では子どもたちにも手で触れながら作品の素晴らしさを実感してもらうコーナーを作る計画もあるとのこと、「他にはない工芸美術館をここ町田に創るんだ！」という強い意気込みを感じました。このような素晴らしい「陶磁器・ガラス工芸専門の美術館」を是非実現させてください。心待ちにしております。2. 芹ヶ谷の素晴らしさは「溢れる緑と森の中にある格調高い芸術空間」にあると思います。本日ご担当者様から工芸美術館の建設計画場所は森を崩し傾斜地を平らにするためお金も相当かかってしまうという話を伺いました。計画図を拝見しても工芸美術館を囲む構造物が多すぎ、空中廊下など芹ヶ谷のイメージがすっかり変わってしまう構造物もあります。確かにこの場所の建設はやめた方がよいと納得しました。計画見直しでは「森を壊さず平地、例えば第一駐車場やその付近に工芸美術館だけ建設」がよいのではないかと思います。森を壊さず建設コストを抑え現駐車場付近に建設される「陶磁器・ガラス美術館」は「芹ヶ谷の新たな顔」として来館者に大きな存在感を示すものとなるのではないのでしょうか。3. 障がい者の方が働いていらっしゃる現喫茶店を不便で目立たない高台に移す計画も再考をお願いしたいと思いました。これを機に「よくあるような利潤追求のためのオシャレなカフェ」などに運営主体が入れ替わることが心配です。園内で最も目立つ場所にあるからこそ「障がい者も活躍する町田！」をアピールしてきた象徴的施設は大切に守られるべきだと思います。4. 既に造成中の町田荘跡は「子どもたちの冒険遊び場」を延長したものにできないでしょうか？「子どもたちの冒険空間もさらに広がる芹ヶ谷にして頂ければ幸いです。
99	町田市はすでに誇れるコレクションを多ジャンルに渡り収蔵している。それなのに市民が目にする機会をたかがハコモノのあるなしで10年以上も奪っているのが納得いかない。学芸員の研究実績をつみかさねるチャンスも漫然と失われ行く。あまりに惜しい。間借りでもいいから市内で見てもらえる場の提供を一刻も早く始めなさい。 たとえばSèvresのtasse et soucoupeに特化した河原勝洋コレクション。全国から集客がみこめる世界に唯一と断言したい。これを町田市でなぜ常設展示しないのですか！図録の完成が今年の3月。人材すら流出している現状、図録は限定100部で非売品。公共財なのにコレクションの全容すら知らされていない。文化価値をさらに高め市民の教養啓発、親しみの醸成、実物からの感動、単なる資産の利活用でない、経済側面を越える魅力を今すぐにも発揮できるコレクションをすでに擁している。その姿を、目を見開いてください！まずは数点でも学芸員とともに現物鑑賞なさり、何があってもそれが展示場所を求めているのか、A4 1枚の口頭説明とは異なる体験をしよう！ より深い人間理解を促す芸術作品は、あなたの日々のコミュニケーションを豊かにするだけの力を持っています。語らずにはいられない、この感動を分かち合いたい、そんな心を動かされる体験をここ最近されましたか？それが現にある収蔵品で可能になるのです。それがこの紙に綴る言葉としてわたし自身からしぼり出されてきたのも、今回の公聴会における展示作品ゆえ。 場所の問題ではなく、モノの問題、それを動かすヒトの問題であると、はっきりしてきたかと思います。税金を誠実に払って予算を提供しているのは、ほかならぬ市民です。執行に関して文化財、公共財を受け継ぎ公開を続けていくのは市政の長期に係る課題です。 コレクション（と、その寄贈）にたずさわった複数の人々の努力を引き受ける責任、その共同体意識の一部なりともあずかる文化貢献、ヒトの人生は短く、芸術は長いのです。 だからこそ、芸術に触れられる機会を一刻も早くわれわれに取り戻したい。予算が膨んだ都合で延期、そんな一言で片付けられたら困るのです。芸術のある人生を、われわれのすべてに、もたらしめよ！

100	1 検討の進め方に関すること ・工芸美術館の建設に関与することについては、近隣町内会長を中心とした署名活動（建設場所をがけ地ではなくしてほしい）に私が参加したことから始まった。なお、この署名活動には約4600名が賛成して、当時の石阪市長へ署名簿が提出された。なお、この崖地は、夏は蟬の生息地であり、秋にはもみじの本当はきれいな場所である。（この場所に工芸美術館を建設することをどのように考えているのか。署名簿はどのように行政判断に使用されたのか。） ・その後、3回ほどの説明会に参加したが、いろいろな意見が出された。だされた意見に関しては、市役所と住民との間で意見交換することが望ましいことと考えられる。しかし、市議会において、市議から住民との意見交換を実施したのかと問われた時には、当時の部長さんは、市民には十分に説明していると回答していた。大切なことは、説明会を実施することではなく、市民と意見交換をしてから結論を見出すべきであった。本件に関しては、町田市は市民との意見交換を全く実施していない。本件に関しては、稲垣市長は「市民参加の形を丁寧に描き直す必要がある」と町田市広報でのべられている。 ・稲垣市長の言われていることは、具体的にどのように実施していくのかを説明してほしい。 ・今回参加した方からはいろいろな意見が出されると思うが、どのようにして意見を集約し、参加者と意見交換を実施するのか。→まず参加者の意見を参考として、アンケートホームを作成し、その後、参加者に対して、アンケートを実施するとよい（町田駅開発に関するアンケートでは、回答者の意見を記載できるようになっていた）。その結果に基づいて、市民と意見交換を実施することを希望する。 ・意見交換の結果を導き出すための会議体においては、多数決とすべきである。 2 公園において問題となること ・スロープは、高齢者並びに保育園児のためには絶対に必要である。そのため、工芸美術館を傾斜地に建設することには絶対反対である。 ・公園の樹木は全く手入れがされていない。また、篠竹や下草は全く刈り取られていない。このような状態の公園では、心の休まる公園と言えるだろうか。薬師公園では、篠竹や下草が草刈機で丁寧に刈り取られており、気持ちの良い公園である。同じ町田市の公園であるにもかかわらず、この違いは、どのようなことであるのだろうか。芹ヶ谷公園は、芸術の森として開発が進められているためにこのようになっているのだろうか。 ・モノレールが導入されることにより、芹ヶ谷公園は分断されることになるが、本当にモノレールは必要と考えているのか。 ・芹ヶ谷公園へのアクセスのためにマイクロバスが導入されたが、ほとんど利用されなかった。このことはどのように判断されているのだろうか。 公園と街中を一体と考えるのであれば、マイクロバスなどは必要なく、モノレールを導入せず、原町田大通りを芹ヶ谷公園に向かってもっと気持ちよく散策できるような空間とすべきである。（大通りの下草が定期的に刈り取られていない。） ・芹ヶ谷公園には国際版画美術館が設けられているが、芹ヶ谷公園を芸術の森とすることの妥当性について検討する必要がある。 3 工芸美術館の必要性に関すること ・工芸美術館は、本町田の博物館に所蔵されているガラス工芸品並びに陶磁工芸品のために建設されると聞いている。 ・博物館に所蔵されているガラス工芸品並びに陶磁工芸品は、本当に国際的に価値があるのだろうか。 ・博物館の存続については、近隣住民が強く要望しており、市議会で住民の要望が認められたにもかかわらず、市長の一存で存続が破棄された。このような状況で、建設が進められている工芸美術館については、基本に立ち返って検討する必要があると思われる。 ・工芸美術館の収益性についてはどのように判断されているのだろうか。（国際版画美術館の収益性についても説明して下さい。） 4 建物の建設場所に関すること ・仮に工芸美術館を建設するのであれば、傾斜地ではなく、平らなところに建設すべきである。 ・現在、町田荘跡地に体験棟等の建設が計画されている。仮に工芸美術館を建設するのであれば、体験棟等と同様の建物の中に設置すればよいと思われる。 5 国際版画美術館の改修工事に関すること ・国際版画美術館は、国際的にも認められている建物である。この建物には一切手を加えるべきではない。 以上
-----	--

101	要望 < 芹ヶ谷公園を大勢の人に楽しんでもらうスロープ設置を> 芹ヶ谷公園の最北西（小田急線路側、母智丘神社附近）に公園内に降りるスロープを出来るだけ早く設置する事を要望します。 （この計画はすでに芹ヶ谷公園第2次（又は第3次）整備計画に予定されていたと思います） < メリット > 1. 小田急町田駅付近から芹ヶ谷公園へ一番近く安全で行きやすくなる。 2. このスロープが出来ることにより、町田市中部から芹ヶ谷公園をめぐる大きな導線が出来る事により、市中心部商店街への客足が増える事が期待される。 3. 原町田5,6丁目に沢山ある保育園や幼稚園の園児が芹ヶ谷公園を利用しやすくなる。 4. 芹ヶ谷公園の北西側の自然と南東側の芸術（国際版画美術館等）の両方を堪能できる。（公園の回遊）
102	提案1 <（仮称）国際工芸美術館建設関連計画の見直し案> 1. 国際版画美術館修繕工事は中止する。（国際版画美術館内の工房と喫茶けやきはそのままとし、アート・出会いの広場は作らない） 2. （仮称）国際工芸美術館とアート体験棟の一部を一体化し建設する。 （（仮称）国際工芸美術館内にガラス工房と陶芸工房を同居する） （その上で予算があればこの工芸美術館内に公園案内とアート・出会いの広場も造る） 3. （仮称）国際工芸美術館の建設場所は平地とし出来る限り建設や工事の費用を抑える。 以上 提案2 <（仮称）国際工芸美術館に所蔵予定の作品のPR> 一般の市民は今町田市がどんな良い作品を所蔵しているかほとんど知らないと思います。それで市はもっとPRに努め（仮称）国際工芸美術館の建設に理解を求めることも大事なことです。 例えば、毎月2回発行される町田市広報に、市が誇れる作品を1点ずつでも写真と解説を付けて、毎月掲載したらどうでしょうか。 また、地域のニューズペーパー（例えばタウンニュース等）にも、新しい作品を入手したら町田市のPRとして紹介記事を依頼するのどうでしょうか。 これは国際版画美術館内の作品にも当てはまることです。 以上
103	芹ヶ谷公園をめぐる問題点と今後の対策 1. 芹ヶ谷公園と周辺のあるべき姿 ① 過去の遺産を抹消せず、良いものは大切にメンテナンスを施し、市民の財産として大切に維持管理する。 ② そのためにも、公園内の林相を明るく維持管理し、特にもみじ谷の遊歩道としての機能を大切にす。 ③ 遊歩道は、健康な高齢者や子供のための歩く道として、現状の不具合点を見直す程度としてしっかりと維持していただく。 ④ 公園南口の遊具前を憩いの広場として、ベンチ（テーブル付き）を設け、来園者の便宜を図る。（半円形に展望スペースを設ける） ⑤ 民地境の危険な高木は適切に管理する。 2. 新たに建設を予定している工芸美術館と国際版画美術館のあり方 ① 時代の要請として市が固執する賑わいの創出は新たに計画する、旧町田荘跡地の建物の中で実現させ、現在の版画美術館は、静かな環境の中でゆっくり鑑賞できる空間として大切に維持してゆく。 ② 工房の移転は、必要な改造を除いて、現状を維持する。 ③ 工芸美術館は、今までの弥生が丘の立地を第1として、継続してゆくことが望ましい。（環境としても遺跡と薬師池公園への道のつながりを明確にする） ④ 上記が不可能ならば、解体を予定している芹ヶ谷会館に工芸美術館を設けることが、次善の解決策と考える。 ⑤ 現在の4丁目からの公園への人の流れが明確になり、貴重な林層破壊を回避できる。（工事中の長期にわたる立ち入り禁止もなくなる） ⑥ なお、芹ヶ谷会館の機能については、見直しも必要だが、永年無償で活動する市民団体の拠点を大切にす、町田市の伝統を今後も大切にす。 ⑦ 2つの施設の維持管理については、版画美術館と工芸品が同一の学芸員でまかなわれるとは思えず、外部の維持管理業者へ丸投げする乱暴さが見える。 ⑧ いずれにしても、資材高騰のなかで、無駄な新投資は、出来るだけ抑えることが市の考えるべきことと思います。 以上です。

104	芹ヶ谷公園 再整備計画、（仮）国際工芸美術館建設計画への希望 1. 再検討にあたって * 芹ヶ谷公園をより魅力的で安心安全な公園にするために、担当課、指定管理者、公園内施設・活動団体、商店街、地域団体（自治会、地区協議会等）と有志の市民で構成する「公園の応援団」のような会議体を作り、公園の計画や課題について前向きに話し合っていきたいです。 せりがや冒険遊び場もその構成員にいただき、公園の活性化に協力していきたいと思っています。 * 会議体は公園の運営や計画に対する意見交換や第三者評価をすることが主目的ですが、公園を活性化させる事業（Future Park Lab 等のイベント、自然環境の保護と育成、広報活動）を具体的に進めたりする分科会を将来的に組織していけるといいと思います。 例：厚木市 あつぎこどもの森公園「あつぎこどもの森クラブ」 * 会議体が主催して、市民の意見を聞く場やワークショップを開いていきたいです。会議体に入った限られた人だけが意見を出すのではなく、広く様々な世代の意見を聞くことが会議体の構成員にとって必要だと考えます。「市民」対「市」ではなく、皆がフラットな立場で意見を出し合えるといいと思います。 cf せりぼうに授業できている高校生たちの意見を聞いてみました。短時間でしたが以下出た意見です。 ・公園の宣伝のためにオリジナルシールを作る（シールが流行っているの）・水で遊べる場がたくさんほしい・花火はしていいの？ 火を使って遊ぶ場がほしい。 ・もっと小さい時にせりぼうに出会いたかった。 ・泥遊びができる場があるといい。（せりぼうでは可能です） 2. （仮）国際工芸美術館建設について * 町田市立博物館の収蔵品は本当に素晴らしいものが多いのですが、そのことがあまり知られていないのが残念です。一日も早く（仮）工芸美術館が建設され、収蔵品の展示やワークショップ等に市内外から多くの市民が訪れることを期待しております。 * 建設場所については、オンデザイン設計の坂の上に建てる案には、市民から多くの反対と不安が出ました。過去にシーラカンスが設計したように、版画美術館の近くの同じ平面上か、体験棟を建てる予定だった町田荘跡地にグランドレベルを版画美術館と同じにして建てていただけたらと思います。 また、工芸美術館の学芸員さんの事務所は、工芸美術館内に作っていただきたいと思います。観客の質問に答えたり、展示室の状況、観客の興味関心や動向を肌で感じるには、同じ空間に事務所がある方が合理的だと思うからです。 * 上記のようにした場合、版画美術館から工芸美術館へ企画されていたブリッジは必要なくなります。 また、版画美術館の魅力の一つである版画工房の移転や、喫茶けやきの移転は中止し、代わりに版画美術館の池や版画工房、アトリエ等のメンテナンスを丁寧に行い、工芸美術館の開館と同時に版画美術館もプチリニューアルできると、市民の関心をより引くのではないかと思います。 * 版画美術館の改装による休館期間がなければ、展覧会の企画にも見通しができ、他館からの作品借用やアーティストを招いてのアーティストインレジデンス等、より充実した展覧会の企画に挑戦できるのではないかと期待しています。 3. 体験棟の設備 * 従来の案では、体験棟でできることは版画、陶芸、ガラス工芸になっていました。しかし、せっかく体験棟と言うなら、もっと様々な体験ができるような設備の拡充に予算を割いてほしいです。 ・自然体験・木工体験・写真撮影や動画制作・音楽、ダンス、演劇等の表現活動・染色と織物・調理・彫金や皮革工芸 etc 上記は一例ですが、様々な体験に対応できる部屋の作りや道具の用意、防音設備などが実現できれば、そこで行われる体験はまさに「アート出会いの広場」になるのだと思います。 また、多くの美術館や博物館が備えている図書・資料室もあれば更に充実すると思います。 * そのような場で市民が企画する体験講座やイベント等も行えたらと思います。 せりがや冒険遊び場は年間を通して様々な体験のイベントを行っています。過去には版画美術館の展示に合わせた企画を依頼されたり、せりぼうの企画に博物館所蔵のアンクルンを貸し出していただき、版美の講堂でイベントをしたこともあります。 八戸美術館のジャイアントルームを見学に行きましたが、使い方を学芸員さんも模索している様子でした。市民の応援団的な関わりが特徴的でした。体験棟の中にアート出会いの広場を作り、様々な立場の方が参画できる場がいざいぎと動いていくように思います。 4. エレベーターの設置 * 芹ヶ谷公園の谷戸の地形は自然の豊かさにつながっていますが、上り下りするにはかなりきつい高低差です。また版美横の坂と二小側の坂が狭く急な割に交通量が多いので、自転車も乗れるエレベーターができると安全に通行できます。エレベーター塔のデザイン画を子どもたちから集めたこともあるので、その声に答える意味でもなるべく早くエレベーターを実現していただきたいです。 将来的にモノレールのために作られる道路からのエレベーターの案もあるようですが、数年内に実現するとは思えません。具体的に実現できる案を早急に作っていただきたいです。
-----	--

104	5. その他 *公園内にスピーカーをつけて、イベントの告知、迷子のお知らせ、気象警報による注意喚起などを放送できる放送システムを公園の再整備に合わせて設置していただけたらと思います。 *公園内に Future Park Lab で作られた掲示板はあるものの、うまく活用されていないと感じます。せりぼうの前に設置した掲示板では公園内のイベントや版画美術館のチラシ等を貼って、公園内で行われることを「せりがや図鑑」としてお知らせしています。道行く人が立ち止まって見ていることが多くあります。公園内で行われるイベントや注意喚起等をもっと丁寧に告知できるようにしてはどうでしょうか？ *版美で行われる講演会等を撮影し、有料でアーカイブ動画をネットで見られるようにいただけると、当日参加できない人や遠方の方にも版美の魅力を伝えることができます。無料で参加できるものについては、版美の映像コーナーで録画を見せていただけると嬉しいです。（以前、太田記念美術館で学芸員の話ビデオで見られるようにしていました。）また、デジタルミュージムを版美や工芸美術館の収蔵品でも行ってもらえると嬉しいです。 *公園内の樹木管理を中長期で見直し、15年ごとの皆伐採からの萌芽更新等、林が再生し危険がない状態を作っていくよう、専門家を交えて検討し実行していったほしいです。ナラ枯れや枯損木の落枝や倒木等の心配がなくなることを願っています。 *現在公園内のトイレは17時40分～45分には閉まってしまいます。夏季は18時過ぎても遊んでいる人が大勢います。警備員さんの退勤時間に合わせていそですが、せめて18時までには開けておいてほしいです。 *公園にはスケボーの練習に来ている人も多くいます。現在野津田公園にスケボーパークが企画されていますが、アクセスが悪く、貴重な動植物の生息地である場所を壊して作るのではなく、町田駅からも歩いて来られるせりがや公園にスケボーが安全にできる場を作ってほしいです。多目的広場の元トイレがあった場所の奥をコンクリートで固めるだけでもスケボーの練習はできると思います。 *色々な情報が伝わってこない。町の中心部だけでなく、もっといろいろな地域への発信をしてほしい。芹ヶ谷公園や工芸美術館建設に関すること知らない人が多い。 *アクセスがもっとしやすければ多くの人が来ると思う。まちっこバスを高ヶ坂の住民の人たちも使えるように運用の仕方を変えてみてはどうか？ *町田街道より公園側の道が狭くて危険（二小から二中への道、版美横の道）なので、エレベーターは有効だと思う。
-----	--

本日、国際版画美術館の講堂で開催された、「芹が谷公園“芸術の杜”を語る集い」に、午前中に町田駅から徒歩で往復し（シャトルバスはいつの間にか運行中止していました）。往復5000歩あまり、ウォーキングではないので、今更のようにアクセスの悪さを痛感しました。もっとも途中の歩道に、また園内に設置された屋外彫刻には和ませられました。とりわけ、芹が谷会館からのスロープを途中、右手の遊歩道に足を踏み入ると新緑がとても鮮やかで、町田の谷戸の自然の（もちろん適時に手入れされているとは思いますが）豊かさを感じられました。

さて、本題です。“語る集い”が開かれた版画美術館の講堂は決して広くはない中で、周りをパネルで埋められ、且つ休日にもかかわらず、美術館のスタッフの方々が、きびきびと来場者の質問に対応されておられる姿に、さすが町田市の職員はしっかりしていると感心させられました。

一方で、気になったことを何点かお伝えさせていただきたいと存じます。

1) 圧倒的な告知の不足

確か広報まちだの5/15号に、“市長のカルテno2を掲載され、公園の視察の写真まで載せられています。一方で、”語るつどい“のアナウンスは次のページの最下段、私は見逃していました。数日前のタウンニュースに掲載されているのを発見し、昨日の朝日新聞に掲載して、出かける気になりました。

2) “語る会”の目的、効果、フォローが不明

会場でアンケート用紙を渡され、かつボードにステッカーに書いた意見を貼るというアナログ対応（私など年寄りには懐かしいですが）、この結果がどのように活用されるかとスタッフの方に聞いたところ“抽出してHPに載せる。それだけ”とのことで、これでは、語らせるだけ語らせ、アンケートも書くだけ書かせるという姿勢はいかがなものでしょうか。アンケートの個人名を書かせないのは当然としても、居住地、年齢（この手紙のフォーマットにすら年齢層の記入が求められます）、性別などの情報を一切要求されないのは、折角集めるアンケートが今後活用するお気持ちがほとんどないと感じざるを得ませんでした。市長はぜひお時間の許すかぎり、アンケート用紙に目を通してみてください。貴重な意見が紛れ込んでいるかもしれません。

3) “芸術の杜”プロジェクトの意図

今回、たまたま、コロナ禍後の入札不調とそれに機を一にした市長のご就任で、見直しのチャンスが生まれたわけですが、市のWEBに公開されている2020年のDesign Bookを見てみると、意味不明な概念の羅列が続いていて、5年半前に前市長は、誰にどのようなランドデザインをさせたのか。この資料だけで恐らく1千万円規模の製作費用が推測されます。

大きな問題点とを感じるものを4点あげます。

a) “芸術”とはなんぞや???

この構想の内容はまさに“パーク”の活性化そのもので、“パークミュージアム”を謳う章をみると、版画美術館だけでは寂しいのでなかにおまけのように博物館を演じて工芸館それも意味不明な“国際工芸美術館”を弥生が丘から持ってくる、という何か不純さないし構想力の貧弱さが感じ取れます。

b) “国際工芸美術館”などという耳慣れない言葉を発明するのは、ランドスケープ屋の常套手段で、あたかも昨今の大学の新設学部が訳にわからない名称にして受験生を“だまくらかす”と同等のテクニックに前市長が嵌められたとは言いすぎでしょうか。

少なくとも“国際”は不要で“工芸美術”も意味不明！町田市工芸博物館でなぜいけないのでしょうか。

c) 町田の誇る縄文、弥生“遺跡”との連携は？

市長もご存じの通り、芹が谷公園のすぐ裏手に国指定の高ヶ坂石器時代遺跡があります。冒険広場から5分もかかりません。ただし、こちらは教育委員会の生涯学習部の所管で、残念ながら市長の権限が及ばないところにあるのかもしれませんが。

日本の“縦割り行政”の最も悪い点で、自分の所掌しか語らないのでは、市政は変わりません。市長が教育に口を出すのはご法度でしょうが、文化的ないしそれこそ“芸術”の面で協議することは可能でしょう。

d) 2020年12月のDESIGN BOOKの致命的な欠陥 アクセス抜本的改善の視点

自分（芹が谷公園）の内側だけしか見ていない、すなわち“町田市”の賑わいとどの連携の視点が決定的に欠如していることです。高ヶ坂石器時代遺跡に限らず、駅からの賑わいのアクセスが何故視野に入らないのでしょうか？ただ、いつになるかわかりませんが（稲垣市長の在任中には実現？）モノレールが開通すれば、このアクセスは劇的に改善するわけですが、一方で駅からの通りの活性化をどのように構想するか。立川北の活性化は大いに参考になることでしょう。

最後に

4. 博物館の整備リノベーションと再開を切に望んでいます。

この「芹が谷公園“芸術の杜”プロジェクト」に巻き込まれる形で閉館した博物館ですが、著名な建築家山口文象の最後期の作品です。

何かと理由を付けて、壊そうとしていますが1973年に竣工ということでもまだ53年しか経っていません。いかに町田市の管理が悪かったかの好例ではありませんか。ご存じの通り京都では3月帝国ホテルが祇園の歌舞連場「弥栄会館」をリノベーションしました。町田市では薬師池公園の中に、写真家秋山庄太郎氏の写真を預かって開設したフォトサロンの維持が杜撰で、写真を汚損し、ご遺族の逆鱗に触れて、すべて引き上げられた過去があります。

また、博物館の隣接地には、意義の高い本町田遺跡公園があります。こちらはなぜか教育委員会ではなく、町田市生涯学習総務課が所掌のようです。これと一体化して整備すれば、藤の台団地地区とか弥生が丘の活性化になると信じています。博物館の土地は借地だそうですが、返還の要請はなく、後背地の緑地は市の土地だそうです。なのでリノベーションに障害はないと思います。

大分長くなりましたが、本日開催された

「芹が谷公園“芸術の杜”を語る集い」に触発されて、まずは私の思いをお聞きいただきたく書き出しました。もちろん本日の会の開催に尽力された美術館課の皆様には大いに敬意を表します。機会がありましたら、ねぎらいのお言葉をかけてあげてください。

105-2	昨日差し上げた手紙の中に、一部誤認した箇所があり、また博物館の閉館の経緯につき、2008年の市の事業仕分けが事の始まりであることを知りましたので、追記させていただきます。なお、昨日の日付は24日で誤記していますので訂正下さい。 1. 芹が谷公園のアクセスについて d) 2020年12月のDESIGN BOOKの致命的な欠陥 アクセス抜本的改善の視点 自分（芹が谷公園）の内側だけしか見ていない、すなわち“町田市”の賑わいとの連携の視点が決定的に欠如していることです。 と書きましたが、Design Bookの4ページ目に 「芹ヶ谷公園と周辺のまちづくりプロジェクトについて」に駅からからの動線と、直線距離で700mと書かれています。しかし以降にはこの改善について全く触れていません。きっとこのDESIGN BOOKの図を書かれた方は、2020年の時点でご自分の足で歩かれてはいないでしょう。図上演習ではなく、歩かれることの無い方には、現実は見えてきません。ましてや「街づくりプロジェクト」とは如何に関わるのか、言葉だけの掛け声に終わっているのではないのでしょうか。その点、稲垣市長は、“市長のカルテ2”で芹が谷公園の現場に就任後すぐに足を運んでおられて、感服しました。ただし、苦言を申し上げれば、折角の写真が「背広にネクタイにヘルメット」はいただけませんね。芹が谷公園の国際版画美術館の後背地にある“国際工芸美術館”の予定地は、奥多摩の山中かと思ふうほどに、鬱蒼とした豊かな緑に覆われています。でもきちんとした遊歩道も整備されていて、危険は全く伴わないと思います。クマも出るようなところではありません。ヘルメットは間違いも甚だしいです。市民に芹が谷は危険だとの誤ったメッセージになりかねません。ぜひ次回には訂正された方がよろしいかと思います。 【博物館の閉館の経緯をみました】 Webに公開されている資料に1973年の開館から2010年9月29日外部委員会までの経緯をまとめた一覧表があります。その中で 前市長の1期目の2008年4月に教育委員会から市の部局に移管され（実際移管が出来るんですね）、3か月後の2008年7月26日、事業仕分けにより不要とされています。内容には「博物館事業が説明不足により『不要』とされる」と苦渋に満ちた文言が残されています。その後、鎌倉国宝館の館長や藤の台小学校の校長らの外部有識者を招いた、“町田市の博物館等の新たな在り方構想検討会”が設置され、2011年3月に結果報告書が発行されています。この直後に東日本大震災があり、世の中が激変してしまいましたが、立派な内容の報告書です。 もう一つ、2008年から2022年までをまとめた「博物館のあり方についてこれまでの取り組み」というものも存在します。 この資料では、2009年に716通の市民アンケートの回答を、閉館の根拠にしていることが伺えます。質問の仕方が不明です、南北に広い町田を考えれば、これが格好の閉館の口実づくり使われたように見えますが、 取り組みの資料では 1) 行ったことがある人が4割（すごい率だと思いますが、判定基準は恣意的でしょう） 2) 交通の便が悪いから行かない（芹が谷公園だって相当悪いです） という点が挙げられています。 何となく2008年の事業仕分けのスケープゴートに博物館が差し出されたように見えます。何より、市としての建物のメンテナンスの至らなさを棚に上げていて、建築物としての価値が一顧だにされていない点にそれが見て取れます。さらにこの資料には2011年の会議で「また、国際版画美術館との2館により「美術ゾーン」の形成を図る観点から、対をなす名称が効果的と考え、新しい博物館の名称を「（仮称）町田市立国際工芸美術館」と表現した。」 対をなす名称が効果的と考えという言葉の遊びで、中身の吟味なく名前をつけられては困ります。軽すぎます。 この事業仕分けから既に18年が経過しています。途中で2011年の東日本大震災、2020年からのコロナ禍を経て、稲垣市長に代わられたいまこそ、博物館の建築的価値（町田市には建築的に価値の或る近代建築はほとんどありません、あるのは茅葺の民家が大多数です）を改めて再認識し、リノベーションを進め、再開に向けて、舵を切りなおす時ではないでしょうか。 【面としての博物館の意義】 薬師池公園西園は2000年4月に開園した当初、コロナ禍の始まりで、植栽の手入れもままならず、草茫々の状態で、苦労されておられました。それが6年を経過して、緑も根付き、ウエルカムゲート付近も賑わっています。加えて、南側のえびね苑、西側のダリア園にまでも区域を広げて広域の運用が効果を上げています。現在北側に拡張の計画があると聞いていますが、いっそのこと、博物館、本町田遺跡公園、それにひなた村、さらには、西園のウエルカムゲート付近にある恩田川の源流域にひなた村の下から向かう川筋、放置されている“なかよし散歩道”を一体化すれば、この地区の大いなる活性化に結び付くのではないのでしょうか。博物・文化・自然の統合的運用を行う、全国的にも先駆けとなりうる町田が世界に誇るに足る、構想にいただきたいと思っています。市長もぜひこの辺りを歩いてみませんか。私も案内してもらって歩きましたのでご案内できます。 以上、追記、補充させていただきます。
-------	---